

Mizuho Daily Market Report

2025/10/13

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	152.86	151.19	▲1.88	+3.72
EUR	1.1578	1.1619	+0.0055	▲0.0123
AUD	0.6556	0.6474	▲0.0082	▲0.0130
SGD	1.2979	1.2969	▲0.0028	+0.0081
CNY	7.1251	7.1353	+0.0053	+0.0129
MYR	4.2262	4.2227	+0.0057	+0.0149
THB	32.75	32.72	+0.13	+0.33
IDR	16570	16553	+8	+13
PHP	58.25	58.27	▲0.00	+0.39
INR	88.57	88.70	▲0.09	▲0.08
VND	26351	26340	+0	▲36

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.032%	▲10.6 bp	▲8.7 bp
日本(10年)	1.688%	▲0.8 bp	+2.6 bp
ユーロ圏(10年)	2.644%	▲5.9 bp	▲5.4 bp
オーストラリア(5年)	3.775%	+1.9 bp	+2.5 bp
シンガポール(5年)	1.614%	▲2.1 bp	▲4.3 bp
中国(5年)	1.598%	+0.3 bp	▲1.0 bp
マレーシア(5年)	3.235%	▲0.8 bp	+2.6 bp
タイ(5年)	1.262%	+2.9 bp	+8.7 bp
インドネシア(5年)	5.384%	▲0.8 bp	▲8.6 bp
フィリピン(5年)	5.689%	▲15.3 bp	▲13.2 bp
インド(5年)	6.144%	+1.3 bp	+3.9 bp
ベトナム(5年)	3.129%	+0.5 bp	+4.3 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	45,479.60	▲1.9%	▲2.7%
N225(日本)	48,088.80	▲1.0%	+5.1%
STOXX50(ユーロ圏)	5,531.32	▲1.7%	▲2.1%
ASX(オーストラリア)	5,092.26	▲0.9%	▲0.8%
FTSE(シンガポール)	4,427.06	▲0.3%	+0.3%
SSEC(中国)	3,897.03	▲0.9%	+0.4%
SENSEX(インド)	82,500.82	+0.4%	+1.6%
JKSE(インドネシア)	8,257.86	+0.1%	+1.7%
KLSE(マレーシア)	1,622.25	▲0.5%	▲0.8%
PSE(フィリピン)	6,037.79	▲0.3%	▲1.2%
SETI(タイ)	1,286.98	▲2.1%	▲0.5%
VNINDEX(ベトナム)	1,747.55	+1.8%	+6.2%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	292.76	▲2.2%	▲2.2%
金	4,017.79	+1.0%	+3.4%
原油(WTI)	58.90	▲4.2%	▲3.3%
銅	10,486.81	▲3.3%	▲1.9%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	150.60	—	153.30
EUR/USD	1.1270	—	1.1900
AUD/USD	0.6385	—	0.6780
USD/SGD	1.2760	—	1.3080
USD/CNY	7.1000	—	7.1490
USD/MYR	4.1700	—	4.3130
USD/THB	30.50	—	33.15
USD/IDR	16400	—	16800
USD/PHP	56.10	—	59.05
USD/INR	86.70	—	89.60
USD/VND	26,200	—	26,600

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (8)	>	Bear (0)
USD/SGD	Bull (7)	>	Bear (1)

Contact:

Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は152円台前半でオープン。9日夜の高市自民党総裁による、急速な円安進行へのけん制や財政規律も考慮するといった発言を受けて、過度な日本の財政拡張懸念の後退などからドル円はじり安で推移し、152円台後半で海外時間に渡った。アジア通貨は小幅に下落する展開となった。

海外時間のドル円は欧州時間において152円台後半で推移した後、同水準でNYオープン。ドル円は公明党の自民党との連立解消したことから、大型の景気刺激期待が後退し、円が買い戻される動きにドル円はじり安で推移。その後も中国が昨日レアアースの輸出規制を発表したことや、本日も米国船舶が中国の港に寄港する際の特別料金を課す方針を示したことから米中間係が悪化する動きに、株式市場で売りが強まり、大幅安となる展開に円が151円台前半まで下落し、そのままの水準でクロースした。

【金利】

前営業日の米債利回りは大きく低下。トランプ大統領が中国製品への関税増加分を算出中とのヘッドラインが流れると、米10年債利回りは4.10%台から大きく低下し、一時4.05%台まで低下した。その後、ホワイトハウスがレイオフを開始したとのヘッドラインが流れると金利は低下を継続。引け間際には中国製品に100%の追加関税、重要ソフトウェアの輸出制限などのヘッドラインがでたこともあり、米10年債利回りは4.03%台まで一段と低下した。その後小幅に戻し、米10年債利回りは前日比▲10.6bpの4.032%でクロースした。

【予想】

本日のドル円はヘッドラインに振られる展開を予想。今週のオープン後には、先週の下落の戻しもあり、152円台を回復。しかし、大幅下落の主要因となった米トランプ大統領の中国に対する追加関税に対して、中国はすでに報復を示唆しており、今後中国からの報復措置に関するヘッドラインも懸念される。前回同様にレアアースへの輸出引締めや関税合戦などの懸念が高まっており、続報次第ではドル売り地合いが一段と高まる可能性がある。一方で、日本では、自公連立に終止符が打たれることとなり、高市トレードの巻き戻しが意識されるものの、少数与党に拍車がかかる中、トリプル安を懸念する声も上がっており、円安にも留意が必要そうだ。

【本日の予定】

(日本) 休場
(日本) 大阪・関西万博閉幕
(アジア) 8月 NZ 純移住者数
(アジア) 9月 NZ ハフォーマンス・サービス指数
(アジア) 9月 インド CPI
(アジア) 9月 中国 貿易収支
(アジア) 休場 タイ
(欧州) 8月 独 経常収支
(欧州) ノーベル経済学賞発表(ストックホルム)
(欧州) 独 国債入札(12M)
(米国) IMF・世銀年次総会(ワシントン)
(米国) ホールツォン・フィデリティ連銀総裁講演
(米国) 休場

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。